

新たに令和5年度の青年部会長に就任した竹内さんに、青年部にかける思いについてお話を伺いました。

常に「誰かのために」を考えて

今年のスローガン「Just For Someone」にもあるように「誰かのため」を思いながら事業を進めていこうと考えています。「自分のため」は結果で、家族・従業員・青年部メンバー、地域の方やお世話になっている方など、誰かのためという思いは絶対に自分のためよりも力を発揮できるし、活動のモチベーションにも

## 創造力と思いやりで 持続可能な未来へ

加古川商工会議所青年部

会長 竹内 一真 さん

なると思います。そしてそれは必ず自分にも良い結果として返ってくるはず。それが実感できる1年にしたいですね。

### 「産官学」と連携を

ここ数年、国内外の社会情勢、環境、そしてコロナ禍によるライフスタイルや働き方の変化など、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。私たちは様々な場面でその状況に乗り遅れることのない柔軟な対応をしなければいけません。そのためにも、今年度の研修はこれまで以上に力を入れ、研鑽を積み、個々のレベルアップを図る予定です。

そして青年部活動は私たちだけでなく、地域や行政との協力があって活動ができています。今後も「産官学」と連携をとり、加古川を盛り上げる内容の事業を進めていきます。

昨年度に復活した「子どもの夢をかなえ隊」事業は非常に好評で、地域の皆さんに青年部の活動を知ってもらっただけではなく、子どもたちも実現まで一緒に活動し「大人ってすごいな」と思ってもらえる事業だったのでないかと思えます。今年度も是非とも実施したいと考えています。

また地域を盛り上げる事業と言えば「商工祭加古川楽市」です。今年20回目を迎えますがこの節目に改めて「商工祭」の原点に立ち返り、集客イベントだけではない、「商工会議所青年部」が実施するのにふさわしい、加古川の企業を知ってもらえるような内容にしたいと思えます。担当委員会にはとても難しい課題を与えてしまったと思いますが、みんなで知恵を出し合いながら良い楽市にしたいですね。

### 「思いやり」と「未来」

私がこの一年間でメンバーの心に留めてほしいことは二つ。一つは「思いやり」です。常に相手のことを考えて行動をしてほしい。そして二つ目は「未来」です。未来を見据えた持続可能な目標を持って行動してほしい。この「持続可能」という言葉はSDGsでよく知られていますが、SDGsも全ての人の思いやり、希望のある未来を目標にした取り組みです。

青年部も思いやりを持って活動し、希望ある未来へ進んでいけるよう、メンバー一丸となってまいります。皆さまにはご協力をいただくことが多々あるとは思いますが、どうぞよろしくお願いたします。